



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 システムズ・デザイン株式会社  
 コード番号 3766 URL <http://www.sdcj.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東  
 (氏名) 隈元 裕  
 (氏名) 岡本 芳明  
 TEL 03-5300-7800

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	3,709	8.1	54		42		61	
29年3月期第2四半期	3,432	7.6	41		36		49	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 65百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 48百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	17.67	
29年3月期第2四半期	14.18	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	5,522	3,647	66.1	1,043.27
29年3月期	5,725	3,776	66.0	1,080.04

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 3,647百万円 29年3月期 3,776百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		18.00	18.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,932	14.8	230	65.0	229	49.0	130	197.4	37.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	3,940,000 株	29年3月期	3,940,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	443,361 株	29年3月期	443,361 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	3,496,639 株	29年3月期2Q	3,521,721 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 211「当四半期決算に関する定性的情報、(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中、金融緩和や各種経済政策を背景として、緩やかながら景気回復基調で推移しました。一方で、米国の経済政策動向に対する懸念や、EUを中心とした海外経済の不安定感等、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス分野においては、企業の投資は堅調に推移しております。

このような状況の下、当社グループでは継続案件や新規案件の受注確保、人材育成及び採用活動への投資などに注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高3,709,408千円（前年同期比8.1%増）、営業損失△54,866千円（前年同期△41,059千円の営業損失）、経常損失△42,836千円（前年同期△36,540千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失△61,798千円（前年同期△49,952千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。また、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。業績における前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の区分方法により組み替えて比較しております。変更の詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等） セグメント情報」の「II 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

## ① システム開発事業

システム開発事業につきましては、継続案件や新規案件の受注確保に注力してまいりましたが、高利益案件の受注が達成できませんでした。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高2,214,814千円（前年同期比5.0%減）、営業損失△55,968千円（前年同期は51,570千円の営業利益）となりました。

## ② アウトソーシング事業

アウトソーシング事業につきましては、顧客からの受注が順調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高1,494,594千円（前年同期比35.6%増）、営業利益1,102千円（前年同期は△92,630千円の営業損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純損失が△44,488千円（前年同期は△36,436千円の税金等調整前四半期純損失）となり、売上債権の減少397,638千円、たな卸資産の増加△110,718千円等により、当第2四半期連結会計期間末には2,665,481千円となりました。その結果資金残高は、前連結会計年度末に比べ124,552千円増となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は250,692千円（前年同期は128,146千円の獲得）となりました。これは主に売上債権の減少397,638千円、たな卸資産の増加額△110,718千円、未払金の減少△62,843千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は△17,755千円（前年同期は△522,091千円の使用）となりました。これは主に敷金及び保証金の差入による支出△11,372千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は△108,383千円（前年同期は172,029千円の獲得）となりました。これは主に配当金の支払額△62,939千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日付の「平成29年3月期決算短信」にて公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,540,928	2,665,481
受取手形及び売掛金	1,410,246	1,012,608
商品及び製品	20,488	28,041
仕掛品	97,512	201,344
原材料及び貯蔵品	17,981	17,314
繰延税金資産	102,179	113,458
その他	78,343	73,505
貸倒引当金	△1,236	△692
流動資産合計	4,266,444	4,111,061
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	394,574	398,319
減価償却累計額	△262,543	△267,458
建物及び構築物(純額)	132,031	130,860
土地	107,273	107,273
リース資産	21,140	21,140
減価償却累計額	△10,945	△12,322
リース資産(純額)	10,195	8,818
その他	243,505	240,320
減価償却累計額	△223,232	△222,277
その他(純額)	20,272	18,042
有形固定資産合計	269,772	264,995
無形固定資産		
のれん	563,169	530,226
ソフトウェア	7,699	5,112
その他	9,969	9,969
無形固定資産合計	580,837	545,308
投資その他の資産		
投資有価証券	101,812	97,824
長期貸付金	3,643	2,881
繰延税金資産	213,706	213,724
その他	288,828	286,583
投資その他の資産合計	607,991	601,013
固定資産合計	1,458,601	1,411,318
資産合計	5,725,045	5,522,379

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	23,105	14,320
1年内返済予定の長期借入金	99,996	99,996
リース債務	5,660	5,660
未払金	507,594	443,307
未払法人税等	51,513	30,880
賞与引当金	197,490	214,393
受注損失引当金	31,000	—
その他	190,526	247,606
流動負債合計	1,106,887	1,056,164
固定負債		
長期借入金	116,674	75,009
リース債務	16,031	12,252
繰延税金負債	13,348	12,001
役員退職慰労引当金	49,056	52,903
退職給付に係る負債	633,122	655,046
資産除去債務	2,850	2,850
その他	10,575	8,207
固定負債合計	841,659	818,271
負債合計	1,948,546	1,874,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,906	333,906
資本剰余金	293,182	293,182
利益剰余金	3,325,094	3,200,356
自己株式	△197,928	△197,928
株主資本合計	3,754,255	3,629,517
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,876	21,001
退職給付に係る調整累計額	△2,633	△2,575
その他の包括利益累計額合計	22,243	18,426
純資産合計	3,776,498	3,647,943
負債純資産合計	5,725,045	5,522,379

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	3,432,955	3,709,408
売上原価	2,811,708	3,056,391
売上総利益	621,247	653,017
販売費及び一般管理費	662,306	707,883
営業損失(△)	△41,059	△54,866
営業外収益		
受取利息	81	64
受取配当金	747	2,581
助成金収入	3,322	7,099
持分法による投資利益	282	1,908
その他	839	1,001
営業外収益合計	5,274	12,654
営業外費用		
支払利息	546	624
自己株式取得費用	208	—
営業外費用合計	755	624
経常損失(△)	△36,540	△42,836
特別利益		
固定資産売却益	324	0
受取保険金	—	165
特別利益合計	324	166
特別損失		
固定資産除却損	220	0
保険解約損	—	577
減損損失	—	1,241
特別損失合計	220	1,819
税金等調整前四半期純損失(△)	△36,436	△44,488
法人税等	13,516	17,310
四半期純損失(△)	△49,952	△61,798
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△49,952	△61,798

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△49,952	△61,798
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,362	△3,874
退職給付に係る調整額	478	58
その他の包括利益合計	1,841	△3,816
四半期包括利益	△48,111	△65,615
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△48,111	△65,615
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△36,436	△44,488
減価償却費	19,791	10,173
のれん償却額	22,311	31,630
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,835	16,902
減損損失	—	1,241
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,255	3,846
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	△544
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△15,394	△31,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,061	22,008
受取利息及び受取配当金	△829	△2,646
支払利息	546	624
売上債権の増減額(△は増加)	388,850	397,638
未払金の増減額(△は減少)	△31,451	△62,843
たな卸資産の増減額(△は増加)	△173,975	△110,718
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,392	△8,784
その他	△9,689	61,790
小計	168,471	284,830
利息及び配当金の受取額	826	2,646
利息の支払額	△546	△624
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△40,604	△36,160
営業活動によるキャッシュ・フロー	128,146	250,692
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,872	△7,335
無形固定資産の取得による支出	△2,582	—
有形固定資産の売却による収入	324	0
敷金及び保証金の差入による支出	—	△11,372
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△515,168	—
その他	2,208	951
投資活動によるキャッシュ・フロー	△522,091	△17,755
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
借入れによる収入	300,000	—
借入金の返済による支出	△33,332	△41,665
自己株式の取得による支出	△44,918	—
配当金の支払額	△46,561	△62,939
その他	△3,158	△3,779
財務活動によるキャッシュ・フロー	172,029	△108,383
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△221,915	124,552
現金及び現金同等物の期首残高	2,762,747	2,540,928
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,540,832	2,665,481

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	システム開 発	アウトソー シング	合計		
売上高					
外部顧客に対する 売上高	2,330,522	1,102,432	3,432,955	—	3,432,955
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	2,330,522	1,102,432	3,432,955	—	3,432,955
セグメント利益又 は損失(△)	51,570	△92,630	△41,059	—	△41,059

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	システム開 発	アウトソー シング	合計		
売上高					
外部顧客に対する 売上高	2,214,814	1,494,594	3,709,408	—	3,709,408
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	2,214,814	1,494,594	3,709,408	—	3,709,408
セグメント利益又 は損失(△)	△55,968	1,102	△54,866	—	△54,866

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「情報処理サービス事業」、「システム開発事業」及び「アッセンブリー事業」から、「システム開発事業」及び「アウトソーシング事業」に変更しております。この変更は、これまでの事業の枠を超え相互連携する事で、より一体感を持たせ競争力の強化を図るため、「情報処理サービス事業」セグメントと「アッセンブリー事業」セグメントを集約し、「アウトソーシング事業」セグメントとしております。また、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるため、全社費用の配賦基準を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分及び算定方法に基づき作成したものを記載しております。